

1月4日：まちまちの動きも、指数は続伸

昨日の上昇から利益確定の動きが強くなり相場はまちまちの動きとなった。それでも指数は上昇を維持して取引を終えた。

ホーチミン取引所のVN指数は2.45ポイント（0.23%）高の1,046.35ポイントで取引を終えた。昨日の2023年初日には37ポイント上昇し、2か月半ぶりの上昇幅となっていた。

売りが優勢となり、162銘柄が下落、155銘柄が上昇した。

流動性は改善を続けた。ホーチミン市場では12%増加し10.5兆ドンが取り引きされた。

VN30指数も2.9ポイント（0.28%）高の1,050.15ポイントで取引を終えた。VN30指数では13銘柄が上昇、13銘柄が下落、4銘柄は変わらずだった。

昨日の上昇後に、投資家は利益確定に動き相場の重しとなった。サイゴンハノイ証券のアナリストは、2023年の初めに良いスタートを切ったが、テト休暇が近づくとつれて、株式の保有比率を減らすだろう。そのため、相場の行方は不透明だと語った。

VN指数は昨日大きく反発したが、中長期の下落トレンドを抜け出してはいないと同社は述べた。

最も指数を押し上げたのは、マサングループ（MSN、+3.44%）で、ペトロリメックス（PLX）、VPバンク（VPB）、ベティンバンク（CTG）、ビナミルク（VNM）などが続いた。一方、不動産株は相場を押し下げた。ビンググループ（VIC）、ビンホームズ（VHM）、ノブランド（NVL）などが下落した。

ハノイ取引所のHNX指数も水曜日に上昇した。指数は0.5ポイント（0.24%）高の213.06ポイントで取引を終えた。

出来高は7,485万株で売買代金にして1.1兆ドンだった。

外国人投資家は買い越しを続けている。両市場合わせて4,000億ドンが買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。